

第6回議会運営委員会会議録

- 1 開会日時 平成27年4月24日（金）午後1時5分
- 2 閉会日時 平成27年4月24日（金）午後1時59分
- 3 会議場所 議会委員会室
- 4 出席委員
4番 保田 守君 6番 治徳 義明君 7番 原田 素代君
10番 北川 勝義君 11番 福木 京子君 13番 岡崎 達義君
14番 下山 哲司君 17番 金谷 文則君
- 5 欠席委員
なし
- 6 事務局職員出席者
議会事務局長 富山 義昭君 主 幹 黒田 未来君
主 査 青木 智彦君
- 7 協議事項 1) 一部事務組合議会議員の推薦について
2) 議会選出各委員会委員の選出について
3) その他
- 8 議事内容 別紙のとおり

午後1時5分 開会

○委員長（下山哲司君） それではただいまから第6回議会運営委員会を開会いたします。協議事項の1番目でございます。一部事務組合議会議員の推薦についてを調整をさせていただきたいと思っております。協議事項2番目では、議会選出各委員会委員の選出についてを調整をさせていただきたいと思っております。今の2件を協議をお願いしたいと思っております。まず最初に1番目の一部事務組合議会議員の推薦についてをみなさんのご意見を交えながら……。

○委員（北川勝義君） 上からいこうや。

○委員長（下山哲司君） はい。それでは……。

○委員（北川勝義君） 下山さん。

○委員長（下山哲司君） はい、北川委員。

○委員（北川勝義君） 大変申し訳ねえんじゃけど、申し合わせ通りで、議長は兼務しとるのは外して、議長の充て職でいかにゃあいけんところは外して、それから委員会構成合わさにゃあおえんのんでやってもろうて、うちのは総務文教委員会はもうみな決めていっとんで、それなりに言うてもらやあええんじゃねえんかなと思うんじゃけど、どんなですか。

○委員長（下山哲司君） それでですね、まず今までのあれとして、議長、副議長、監査委員さんは充て職以外のは今まで皆さんお持ちになってない状況だったと思っております。見ていただければわかるんですが。議長が、小田議長から金谷議員にかわられて、金谷議員にあったものを他のところへ振り替えるのをまず先をお願いしたほうがいいんじゃないかと思うんですが。

はい、北川委員。

○委員（北川勝義君） そうじゃのうてなあ、委員会ごとしとんかもしれんけど、僕はもううちのはみなそれも考えて、下山さんもおられるけえ、やっとなあなあ。やっとなんじゃから、単純に言うたら、産建で金谷いうところの上から1、2を消えとんじゃけど、今の一部事務組合じゃったらあれを消さにゃあおえんのんですよ、農業共済を。今言うやり方で消して、これをうちがもらいてえ。佐々木君が1個もなかったから、佐々木君にもらうとかさしてもろうたら。せえから、議長がどうしても行かにゃあおえんところは、し尿と吉井川のふれあいパークのは議長に出てもらうようになっとなんで、前から。それだけはそこへ金谷いうの振らにゃあおえんから、小田さんのところのふれあいパークから振って、そうしていきょうたら埋めれるんで。で僕はできたらうちから順番に言わせてもろうて、あとのところを埋めてもらやあ最終的になるんじゃねえかと思うとんです。

○委員長（下山哲司君） それで、今小田議長がふれあいパークとし尿を抜けばあとは充て職でございましたので、ゼロになるんです。

○委員（原田素代君） いや、厚生の方で。

○委員（北川勝義君） 厚生で振り分けがまたできて。

○委員長（下山哲司君） やっていただいとんじゃな。

○委員（原田素代君） はい。

○委員（北川勝義君） じゃから委員会ごとにやらせてもろうたほうが早えと思うたんじゃ。

○委員長（下山哲司君） それでは、総務委員会のほうの振り分けを委員長のほうでちょっとやっとりましますので、報告します。下山、議会運営委員。

○委員（北川勝義君） ちょっと待ってん。ちがう、一部事務組合をしょんじゃから、僕が言うから、委員長じゃから。下山さんは4番の柵原、6番、変わらないということです。北川は3、4は同じで、7番目これ北川ペケ、なし。7番東備農業共済なし。それで、松田さんは和気し尿処理組合、今まで通り。東備農業共済へ松田さん、僕のかわり。それから光成さん、東備農業共済。佐々木さん、東備農業共済。実盛さん、和気北部衛生施設組合、前と変わらず。それと和気老人ホーム、前と変わらず。それだけです。

○委員長（下山哲司君） それでは、厚生をほうを。

○委員（原田素代君） はい。まず実盛さんと佐藤さんの厚生で受けていた分を、厚生で引き継ぎたいというのが希望です。で、実盛さんが3の和気北、5の和気老人ホーム。まず、和気北を小田さん。和気老人ホームを……。

○委員（北川勝義君） いや、実盛さんの分いうのはちょっと待って。実盛さんの分を抜く言うたけど、そこは4人しかおらんので。

○委員（原田素代君） 案です。

○委員（北川勝義君） いや、5人しかおらんので。

○委員（原田素代君） どっちが。厚生。

○委員（北川勝義君） 厚生。

○委員（原田素代君） 案を聞いてくださいね。もう一度確認しますよ。

○委員（北川勝義君） 名前の通りでいってん。今おられる……。

○委員長（下山哲司君） 今厚生におられるの現在の人の……。

○委員（原田素代君） そうしたらじゃあ、今この欄が厚生で切っていないので見にくいのですが、実盛さんと佐藤さん、それから行本さんをここでは抜けて、岡崎さんと小田さんが産建から入るという前提で聞いてください。まず、福木さんは4番の柵原、吉井、英田火葬場組合。それから従来やってらっしゃった6番の柵原吉井老人ホーム、この2つを福木さんをお願いします。原田は、今のままで変わりません。1の和気・赤磐し尿処理がそのまま継続。丸山さんは、5番の和気老人ホームを1つおとりになって、もう1つ老人ホーム、柵原吉井老人ホームの両方の老人ホームを丸山さん。小田さんが、3番の和気北部衛生をおとりになります。で、岡崎さんはありません。以上が厚生以案でございます。

○委員長（下山哲司君） それでは、産建をほうを。

○委員（治徳義明君） 産業建設でございますけれども、基本的に希望はないんですけれども、東備農業共済組合ですなえ、行本さんをお願いできれば。あとは議長絡みは別なので。

- 委員（北川勝義君） 金谷は2番に行かにはあおえんのんじゃ。議長じゃから。
- 委員（治徳義明君） そうですね。これは先ほど委員長が言われてましたので。1番、2番ね。1番が人員オーバーするんであれば、治徳ひかせていただきます。
- 委員（北川勝義君） そうせにやあおえん。そりゃ。
- 委員（治徳義明君） で、佐藤さんがどうなるわけですか。もう全部なしになってしまうんですか
- 委員（北川勝義君） 佐藤はあるがな。本当じゃったら柵原、吉井、英田火葬場組合じゃがな。
- 委員（原田素代君） 厚生管轄のものは引き続き厚生でというのが厚生で審議した結果なんです。
- 委員（北川勝義君） ちょっとええかな。委員長。
- 委員長（下山哲司君） はい。
- 委員（北川勝義君） 今そういう勝手な話しようけど、厚生が引き継ぐ引き継がんじゃないのうて、そんなこと言うたら総務がしょったら総務が引き継がんとおえん、数が減ったり増えてくる。そうじゃのうて、僕らあ自分のを減そういうてしたんじゃないけど、共済が増えたということで、佐々木さんが何もなかったりして、金谷委員長のをもらいましょういうてもろうたわけ。せえから誰を減そういうて共済でいうたら北川を減して松田さんにしようということ。せえから下山さんも言よった地元の人に関係あるんで、僕も地元があるいうこって東備農業共済と柵原行く言よったんじゃないけど、柵原行って東備を抜くことにしたんかな、うちは。そういうあれをしとんで、関係あるとこのをしてもらわなんたら、地元じゃねえのを…
- …。
- 委員（治徳義明君） すいません。先ほどの論理で言うたら、うちは農協関係をすべて産建でもらわなきゃいけなくなってしまうんで、そういう論理で言ってしまうええね。原田さんの論理で言えば。そこまではできないんでね。
- 委員（原田素代君） この前の段階で、厚生のかかわるものに厚生の委員が出てなかったものがかなりありまして、おそらくこの2年前のときは厚生の担当のものは厚生が、これが原則ですから、関係する委員会がちゃんと把握しときましょうということでこの表どおりだったと思うんですね……。
- 委員（治徳義明君） すいません、ほんなら1番から7番までどこの委員会か言うてください。
- 委員（原田素代君） 最後まで言っていていいですか。ですから、異動された委員の残った部分は厚生が受け継ぐということで……。
- 委員（北川勝義君） ちょっと委員長。
- 委員長（下山哲司君） 北川委員。

○委員（北川勝義君） 今それ言ようること、わからんでもねえ。なんぼかわかったんじゃ。そうじゃのうて、それもあるんじゃけど、たとえば、和気北部衛生施設組合いうたら、今たまたま前でいうたら吉井、熊山が入ったから吉井、熊山のもんがっこういうて、今。それがまだいきいきよって、いう話でいきよったから入らんからいう話いうんかな。そこらのこと言よったら切りがのうなるんじゃけど。僕が今数数えよったら、1、2、3、4で一番上はええし、下もえんじゃな。せえで、3番目の和気北衛は1、2、3でええんじゃねん。佐藤さんが降りたら3でええんじゃろう。

○副議長（岡崎達義君） 北衛はだれがなっとんかなあ。

○委員（北川勝義君） 北川と実盛と小田さん。

○副議長（岡崎達義君） ほん。

○委員（北川勝義君） せえから、次に柵原、英田火葬場は、下山、北川、佐藤、で3人。次が2人は、和気老人ホームは澤さんと実盛さんと丸山さんでなっとんじゃ。うちはもうここは澤さんの1人分を実盛さんにもってきてもろうたいことにしたんじゃ。交換が。

○副議長（岡崎達義君） 3つになるから……。

○委員（北川勝義君） 実盛さん3つにならんのか。

○委員（原田素代君） じゃあ実盛さんの分は

○委員（北川勝義君） 2つじゃ。実盛さんの分は置いていくんじゃ、そこへ。厚生へ。じゃあけどうちが澤さんが出ていった分があるから、そこへ実盛さんをするということ。わからん。

○委員長（下山哲司君） まあ一番最初に戻れば、委員会の関係じゃいうことにすれば、数がいきわたらないいう……。

○委員（原田素代君） だから原則委員会にしといて……。

○委員（北川勝義君） ちがう、そねえに勝手に変えたらおえんて。

○委員（原田素代君） 最後に調整しません。

○委員（北川勝義君） 僕今言ようけどな、1、2、3、4、5か、東備農業共済が多いんと、だけじゃろ。

○副議長（岡崎達義君） 東備農済はでも行本さんと佐々木、光成、実盛議員でとおっとんじやないん。

○委員（北川勝義君） 東備農済はええんか。

○委員（治徳義明君） ええんですよ。金谷さんがひきますから。

○委員（北川勝義君） 松田さんと……。

○委員長（下山哲司君） いや、光成さんと佐々木さんと行本さんと治徳さん。松田さんはないんよ。

○委員（北川勝義君） あったろう、うちは。

○副議長（岡崎達義君） 松田君が一番上だけじゃ。

- 議会事務局長（富山義昭君） 松田さんはありましたよ。
- 委員（北川勝義君） わしが言うたがんなあ。
- 委員長（下山哲司君） うちのときにはそうなっとなんじやけど、今の話でいけば
- 委員（原田素代君） ちょっともう一度今のそれぞれの委員会の案を出していただいて…
- …。
- 委員（北川勝義君） じゃあから、委員会を出した案の中で数の多いのを今僕が丸しただけ
じゃ。老人ホームが多いんと……。
- 委員長（下山哲司君） 基本的には、2つか1つの割り当てしかないんで、委員会でいけば
厚生が多いんですよ。
- 委員（北川勝義君） そうそう、厚生は人が減らにゃあおえんのじゃ。数が少ねえのに。
- 委員（原田素代君） 2つ以上の人はいませんから大丈夫です。
- 委員（北川勝義君） いや、どっこもおらんのんじや。
- 委員長（下山哲司君） そういう意味じゃなしに、論理として……。
- 副議長（岡崎達義君） そうということ言うとんじやなしに、一組っていうたら厚生って全部
入ってくるから……。
- 委員（北川勝義君） それともう一個が、地元の関係の熊山が入るとるか吉井が入るとる
ところは地元がせにゃあおえんいうことを……。
- 委員長（下山哲司君） どうしても地元の人が入らにゃいけん内容の部分があるので、議員
さんが次々かわられて、職員さんがかわられて、事業自体が理解できてない人が運営しよう
る部分があるんでできれば地元の今までのいきさつがわかった人が行ってあげたほうが運営
がスムーズなんで、そういう考え方をお願いをしたわけです。
- 副議長（岡崎達義君） とりあえず、1人2つくらい。最高で。
- 委員長（下山哲司君） そうそう。最高2つ。
- 副議長（岡崎達義君） 実盛さんが3つになるんじゃないかなあと。
- 委員（北川勝義君） 実盛が3つになる。2つじゃ。
- 副議長（岡崎達義君） 北衛と老人ホームと……。
- 委員（北川勝義君） だけじゃ。
- 副議長（岡崎達義君） あ、2つだけ。そうかそうか。
- 委員（原田素代君） 5の老人ホームと3の和気北は、小田さんと丸山さんに振り分けたい
というのが提案なんです。
- 委員（北川勝義君） そりやおえるもんか。老人ホームとか北部衛生やこはもう実盛さん入
っとなんじやもん。熊山地域から行きよんじやもん。熊山、吉井が行きよんじやもん。そこん
とこを勝手にかえったたらいけるもんか。かえるんならかえてしまいんせえ、みな。そんなや
けくそをすんじやったら。自分とこだけとるとかそんな訳の分からんこと言うたらいけるもん

か。

○副議長（岡崎達義君） だから、小田さんは北衛だけか。

○委員（北川勝義君） そうしたら、佐藤さんが北衛やめりゃあえんじや。それで合うんじや。この人は建設行ったんじやから、やめりゃあえんじや。

○委員長（下山哲司君） 佐藤さんは柵原、吉井だけで我慢していただくと。

○委員（北川勝義君） そうそう。福木さんは柵原、吉井が増やしたようにしたんじやがな、今。じゃから、それを増やしたらいけんのんじや言ようるわけじや。佐藤さんが出るんじやったらな、振っちゃらにゃあおえんから……。

○委員長（下山哲司君） 福木さんも6番だけ。

○委員（北川勝義君） そう。そうせなんだらいけんのんじや。

○委員長（下山哲司君） そうしていただかんと、数の調整がつかんと思うんで。

○副議長（岡崎達義君） それでこの福木さんが減らした分を、ええと誰に……。

○委員（北川勝義君） 福木さんのとこが減ったのはな、下山、北川、佐藤でええんじや。3人が。

○委員長（下山哲司君） 今お聞きした分をちょっと報告してみましようか。

○委員（北川勝義君） 丸山さんが老人ホームやめりゃあええんじや。

○議会事務局長（富山義昭君） これ新しいやつなので、これにみなさん書き込んでいただきましようか。改めて。充て職はもう入ってますから。

○委員長（下山哲司君） はいはい。それでは構成の新しい用紙が配られますから、これにみなさんの案を申し上げてみますんで。よろしいですか。実盛さん、3番と5番。下山が4番と6番。北川議員が3番と4番。松田議員が1番だけ。光成議員が7番。佐々木議員も7番。小田議員が3番。副議長はなし。福木議員が6番。原田議員が1番。丸山議員が6番。佐藤議員が4番。行本議員もありません。

○委員（原田素代君） なんか東備農業共済って……。

○委員（北川勝義君） 東備は入れたらおえんのんじや。監査委員じや。

○委員長（下山哲司君） 監査委員じゃから。

○委員（原田素代君） さっき言ってたよね。

○委員長（下山哲司君） さっき言ったように、議長、副議長、監査委員は……。

○委員（原田素代君） さっき案で出ってたから。

○委員（北川勝義君） 下山さん。さっきの案じゃったら松田さんが7番の東備農業共済あるんじや。

○委員長（下山哲司君） あると思います。

○委員（北川勝義君） それしてえて。言うてなかったから。

○委員長（下山哲司君） 言うてなかったんですが、ちょっと確認させてください。

- 委員（北川勝義君） それから、佐藤さんがしとって次行本さんなしで、次治徳さん。
- 委員長（下山哲司君） 治徳さん7番。
- 委員（治徳義明君） いや、1番も。
- 委員（北川勝義君） 1番は切ったんじゃないん。
- 委員（治徳義明君） いやいや、1番はオーバーするんなら抜けます言うただけ。
- 委員長（下山哲司君） あ、そういう意味な。ほんなら、治徳さんのあとに回させていただきます。保田議員6番。澤さん5番。
- 委員（治徳義明君） ほんなら治徳が2ついけるがん。
- 委員（北川勝義君） 保田さんがなあ、柵原吉井特別養護老人ホーム5人になるからなあ…。
- 委員長（下山哲司君） いや、4人です。
- 委員（北川勝義君） なんで。福木さん、丸山さん……。
- 委員長（下山哲司君） 下山、福木、丸山、保田。
- 委員（北川勝義君） あ、実盛さんは違うんじゃないな。
- 委員長（下山哲司君） はい。
- 委員（治徳義明君） すいません、原田さん。あの、小田さんが1番は希望されてないんですか。
- 委員（原田素代君） 小田さんは議長をおりたから金谷さんに譲りますということです。
- 委員（治徳義明君） そうですか。
- 委員（北川勝義君） 実盛さんはねんじゃないな。ほんなら1、2、3、4人。
- 委員長（下山哲司君） 治徳さんが、1、7と入れる。
- 委員（北川勝義君） じゃあけえそれが、7番か1番かいくかして……。
- 委員長（下山哲司君） 優先を先に1つ丸していただけたら。
- 委員（北川勝義君） どっちか言うてん、治徳さんが。
- 委員（治徳義明君） どっちかにするか
- 委員（北川勝義君） どっちか言うくれ言よんじゃない、治徳さんが。どっちがええんか。言うたら他のものに振れる場合もあるがん。
- 委員（治徳義明君） じゃあ1で。
- 委員（北川勝義君） 1番治徳さんがいったと。ほん1番はこれで確定したんじゃない。あとが……。
- 委員（原田素代君） 7番もいきてる……。
- 委員（北川勝義君） 7番もいきとんじゃ。7番がじゃあけえ誰かがな。7番より2番がねえんじゃ、和気老人ホームのそこは。澤さんだけじゃろう。
- 委員（原田素代君） 5番は厚生に……。

○委員（北川勝義君） じゃけえ澤さんだけじゃけん、実盛さんをしとったんじゃけど、実盛さんを和気老人ホームにしとったんじゃけど、それくれりゃあ実盛さんをそこにもっていきし……。

○副議長（岡崎達義君） 実盛でええがん。

○委員（北川勝義君） ほんなら、ええ実盛さんを。

○副委員長（福木京子君） 厚生にできれば。

○委員（原田素代君） ちょっと待って。

○委員（北川勝義君） いやこれがなあ

○委員長（下山哲司君） 実盛さんは2つあるんよ。

○委員（北川勝義君） ねんじゃ今。1個しかねんじゃ。

○委員（原田素代君） 2つです。

○委員長（下山哲司君） 3番と5番。

○委員（北川勝義君） 3番と5番。

○委員長（下山哲司君） はい。

○委員（北川勝義君） じゃけえ、5番入れてねえけえ言よんじゃが。

○委員長（下山哲司君） あ、3番と5番で。

○委員（北川勝義君） ええんじゃ。

○委員（原田素代君） 厚生のほうから老人ホームはぜひ厚生誰か入ってほしいんですね、和気がゼロなので。総務でお2人出てるから、実盛さんか北川さんが……。

○委員（北川勝義君） 北川は出とりゃへんっちゃ。

○委員（原田素代君） え。

○副議長（岡崎達義君） 出てない。

○委員（北川勝義君） じゃあから実盛さんの老人ホームをな、どっかがほしいんじゃったら、厚生がほしいんじゃったら厚生がとって……。

○委員（原田素代君） ちょっと待って。下山さん、北川さん何と何。

○委員長（下山哲司君） 3番、4番ですよ。

○委員（原田素代君） 3番、4番ね。じゃあ、わかりました。そしたら……。

○委員（北川勝義君） 老人ホームほしいんじゃったら、実盛さんをもって、どなたか厚生でとられえ言ようるわけじゃ。とるんじゃたらな。そうしたら、7番のが1人あくから、実盛さんを7番にもっていっちゃってくれえ言ようるわけ。

○副委員長（福木京子君） はいはい。

○委員（北川勝義君） それじゃたら前もしとったからいう話。僕はじゃあけん、うちは多ゆうなるようなけど、7番がな。

○委員長（下山哲司君） で厚生のかたはどなたにあてたら。

- 副委員長（福木京子君） 丸山さん。
- 委員（北川勝義君） 丸山を老人ホームじゃな。5番の。
- 委員（原田素代君） そうすると、実盛さんの5番が消えるんですか。
- 委員（北川勝義君） 実盛さんの5番を消して、7番に行くんじゃ。
- 委員（原田素代君） 老人ホームが2つ入りましたね。
- 委員長（下山哲司君） 産建の7番は……。
- 委員（北川勝義君） 産建の7番はねえんじゃ。治徳さんが1番とったから。
- 委員（原田素代君） そしたらもう1人あくよ。
- 委員（治徳義明君） 話を戻してちょっとややこしくして申し訳ないんですけど。厚生の中で小田さんが和気し尿を希望されてると思うんですけど。
- 副委員長（福木京子君） し尿じゃないよ。北衛。
- 委員（治徳義明君） 大丈夫ですか。
- 副委員長（福木京子君） はい。
- 委員（原田素代君） 1、2はおっしやってないです。
- 委員（治徳義明君） ああ、そう。
- 委員（北川勝義君） し尿は前が議長じゃから……。
- 委員長（下山哲司君） 小田さんは、和気北部衛生入ってますよ。あともう1つ……。
- 委員（北川勝義君） ええんじゃあ。北衛もろうたから、実盛さんが。
- 委員長（下山哲司君） もう1つは、7番が1つあいとるだけです。
- 委員（北川勝義君） あいてねえって。7番は4人じゃから。実盛さんがそれをとったから……。
- 委員長（下山哲司君） 実盛さんに光成さんに佐々木さんまで決まっとる。
- 委員（原田素代君） 4人もとるの。
- 委員（北川勝義君） それをとらなんだからあれをしたんじゃがな。
- 委員（原田素代君） そりゃ産建に2人ぐらいいないと。
- 委員（北川勝義君） それをとらなんたら、老人ホームをあんたがとったからそうだったんじゃがな。あんたが老人ホームとらなんたら……。
- 委員（原田素代君） 厚生委員会として言ってるんです。
- 委員（北川勝義君） 厚生としても、あんたところがとったからそうだったんじゃがな。
- 委員長（下山哲司君） とりあえず4人目を産建から……。
- 委員（北川勝義君） 下山さん、それをしたらなあ、今実盛がのうなって……。
- 委員（原田素代君） 3番がある。
- 委員（北川勝義君） せえなことはわかっとる。3番があって、3番と5番が前からじゃったから、実盛さんも言ようったのは、自分がしとったから言うからそれをもってきたんじゃが

ん。

○委員（原田素代君）　　そうですよ。

○委員長（下山哲司君）　　実盛さんは3……。

○委員（原田素代君）　　3だけ。

○委員長（下山哲司君）　　3、7ですよ。

○委員（北川勝義君）　　7じゃけど……。

○委員長（下山哲司君）　　もう1人……。

○委員（北川勝義君）　　いらんがな。

○委員長（下山哲司君）　　4人目が産建の治徳さんいうて言よったんじゃけど、さっき。産建をどなたか。

○委員（原田素代君）　　ちがうちがう……。

○委員（北川勝義君）　　松田、光成、佐々木がな3人ととんたんじゃあ、前は。

○副委員長（福木京子君）　　松田さんは1番だけじゃないん。

○委員（原田素代君）　　ちがう、7番も。

○委員（北川勝義君）　　ととんたんじゃあ。せえで、松田さん光成さん佐々木さんじゃって、今の7番のとは和気老人ホームの5番が実盛さんで、その5番をくれえいうて、厚生いかにゃあおえんけえいうて丸山さんいったん。せえで、治徳さんが1番か7番どっちとるんならいうたらいうたら治徳さん1番をとります言うて、今言う共済はこっちがいくんがええかもしれんけど、金谷さんでも今監査しょうらあなあ。

○議長（金谷文則君）　　そうじゃ。

○委員（北川勝義君）　　でこれしゃあねえわ、ここでかわらなんたらどうしょうもねんじゃから。議長なっていきよんじゃから。じゃけえ今実盛さんがここをもらうか、今逆じゃったら逆になるいう話をしょうるだけじゃ。

○副議長（岡崎達義君）　　東備農済が産建1つ持っというたほうがええかもしれんな。

○委員（北川勝義君）　　じゃったから、ここのな……。

○副議長（岡崎達義君）　　治徳君2ついけばええがん。

○委員（治徳義明君）　　治徳さんもう1ついけばいい。

○委員（北川勝義君）　　じゃあけど、ええと思うじゃのうて、それじゃったらおめえらあで勝手にせえや。老人をくれえ言うて実盛をとってもっていつて……。

○委員（治徳義明君）　　じゃあ僕東備もらって、和気し尿を厚生がいきゃあええじゃないですか。

○委員（原田素代君）　　そうしますか。でも産建と総務が2つずつとられたほうがバランスがいいんじゃないですか。東備共済。

○委員（北川勝義君）　　バランスやこう言よったらできんのんじゃ。何べんおんなじことを…

…。

○委員長（下山哲司君） 今の数でいけば産建が一番少ないんで……。

○委員（治徳義明君） 僕が東備もらって……。

○委員（北川勝義君） そりゃちがう。

○委員長（下山哲司君） 産建が一番少ないんで、産建のほうへ入れてほしいと思います。

○委員（原田素代君） だったらいいんじゃないですか。治徳さんがお2つとって。

○委員（治徳義明君） ほんなら。

○委員長（下山哲司君） だから佐藤議員が

○委員（北川勝義君） ほんなら払やあええがな。老人ホームを払うちゃりやあええがな。そげなことになるじゃねえか。関連があるからやってきとんじゃがな。

○委員（原田素代君） いや、農業共済のこと……。

○委員（北川勝義君） 農業共済のことを言ようんじゃねんじゃ。その前のとったから言ようんじゃがな。

○副議長（岡崎達義君） まあまあ大きい声出さずに。

○委員長（下山哲司君） じゃから7番は今の案でいけば治徳議員、光成議員、佐々木議員、それと産建のどなたか1人いっていただければ4人になる。

○委員（北川勝義君） そねえなな、前やりようったのを崩してな下山さん、ほなせられえ、あんたらの思うたように。みな出んから。みなやめたから。

○委員長（下山哲司君） 前の案では松田議員消したんで。7番は。で、今その……。

○委員（北川勝義君） 産建に2人も3人もいって、ほんならなんでせにやあおえんのんな。

○副議長（岡崎達義君） 産建1人よ。

○委員長（下山哲司君） 産建1人。総務が実盛さんに光成さんに佐々木さんになるん。であともうひとつ方じゃから……。

○委員（北川勝義君） 違うがな。実盛さんに光成さんに佐々木さんなら一人だけじゃがな。

○委員（原田素代君） 松田さんが入ってないんでしょ。7番。

○委員長（下山哲司君） そうそう。

○委員（北川勝義君） 松田抜いたらな。で、治徳へ7番やったらもうあと残りゃへんがな。

○委員長（下山哲司君） さっきの案でいったら松田議員が1つでいう話で7番を切っとんです。

○委員（北川勝義君） あんたらなよう考えてな、いっつもな議会構成4年に1回かわっていきようてメンバーかわるけど、そしたら加盟しとる組織があつたところを入れなんで、組織を入れずにな、ほんならいけしゃあしゃあと特養があるけえ何があるからいうて、ほんならみな柵原老人ホームじゃいうて福木さんに丸山さんがとって、保田さんがおって、何が関係ある保田さんが。そうなるじゃねえか。わしらあでもいきとうてもいきようらん。地域にあつたらな

……。

○委員長（下山哲司君）　そういう意味じゃなしに……。

○委員（北川勝義君）　それを考えてしょうるということじゃ。それのに、今決めとった最初のな、切っちゃってな数が多いけん少ねえけんいうて言うたら話になりゃあへんわあ。

○委員（原田素代君）　数のバランスは大事です。

○委員（北川勝義君）　数のバランスじゃったらおめえらやれえ。思うたように。

○副議長（岡崎達義君）　大きな声出すなもう。

○委員（北川勝義君）　数のバランスじゃ言うから。

○委員長（下山哲司君）　さっきの案で、松田議員を1つにしてもろうていうことでバランスとったんですよ。

○委員（原田素代君）　そうです。

○委員長（下山哲司君）　そしたら治徳議員が丸があったんですけど、あとでいうことで丸をつけてなかったんで治徳議員に。じゃから、治徳議員は1番だけで、今のところは1番だけなんです。で、数で言うたら産建が一番少ないからもう1つの7番を産建の……。

○委員（北川勝義君）　あのなあ、こんなこと言うちゃあわりいけど、数は違わんけどなあ、幅の問題を言よんじゃ、厚生とかな。あんたらあそれでわけてきとん。昔下山さんもそれでわけてきとるわなあ。幅の中の。ほんなら産建やるんなら、ほんならこの下の中の国道やこみなそっちもっていつてやりんせえ。そうする、わしおるから。

○委員（原田素代君）　委員長、意見。

○委員長（下山哲司君）　はい。

○委員（原田素代君）　ですから、4人の数があるのですから農業共済には、それぞれかかわる産建と総務でお2人ずつ選出されるのが一番いいと思います。ですから、今のところ産建は治徳さんがお一人とっていただいでるんで……。

○委員長（下山哲司君）　あの、原田委員ねえ、この前のあれでいけば、6番までで調整がつかなかった光成議員と佐々木議員に7番をつけたような形になつとんで……。

○委員（原田素代君）　それでいいじゃないですか。

○委員長（下山哲司君）　だから、4人目を産建が少ないから産建いかしてもらったらどんなでしょうかい……。

○委員（北川勝義君）　前のとき病院があつたりしたろう。福木さんあつたろう病院が。病院があつてそれがのうなつたろう。前のときは病院で佐々木さんをとつたわけ。病院がのうなつたから佐々木さんがなかつたわけ。

○委員長（下山哲司君）　じゃからこれはこれでいいと思うんですけど

○委員（北川勝義君）　ようねえがな。振っていくのにな考え方、みんなもな……。

○副議長（岡崎達義君）　まあまあ北川議員、これでいこうや。

○委員長（下山哲司君） もう一枠なんで。

○委員（北川勝義君） それじゃったらな、議長、副議長は辛抱してもらわなんだらおえんいうてなあってあるんじゃないけど、なあ。

○委員長（下山哲司君） 監査委員とあれね。

○委員（北川勝義君） 監査委員はもちろんじゃけど。監査委員が1個外れとんのもあろう。例えばの話が、議長おえんいうても充て職があるわけじゃ。じゃから副議長か監査委員かどっちかがな、岡崎さん変な話しょんじゃねんで、岡崎さんか行本さんがな、どっかへ1個でも入れたほうがええんじゃねんかいうて僕は言いたかったわけ。監査委員はちょっとあれかもしれんけど岡崎さんな、じゃけど副議長がいくのは別にこれはおかしゅうねんじゃねんかいうのが僕はあったからな。へえで、バランス的にみて全然ねえいうのは、言うちゃあ大変わりいけどおかしいかなあと思うて。あってもええんじゃねえか思うて。

○副議長（岡崎達義君） まあ、北川議員これでいってみようやあ。一応これで数おおとんじやから。

○委員長（下山哲司君） だから、7番の4人目を誰にいかれるか……。

○副議長（岡崎達義君） 治徳君が2つ。

○委員（北川勝義君） 治徳君じゃ言うたがな、あんたが。

○委員長（下山哲司君） さっき治徳さんは調整の関係が最後で……。

○委員（北川勝義君） ちょっとよう書いとかれえ、言うたことを。

○委員（治徳義明君） ほんなら7番は誰と誰が。3人しかあがってないようなけど。

○委員長（下山哲司君） 実盛さんと光成さん、佐々木さん、治徳さん。

○委員（原田素代君） 実盛さん入ってたの。消したんじゃない最初。

○副議長（岡崎達義君） 消してないって。

○委員長（下山哲司君） 消してない。

○委員（治徳義明君） 実盛さんほんなら3つ……。

○委員（北川勝義君） 2つじゃ。3番、7番。

○委員（治徳義明君） 3番、7番。すいません。

○委員長（下山哲司君） 5番はありませんよ、実盛さん。

5番やったがな、今とっていく言うて。厚生が。

○委員長（下山哲司君） はい。それじゃちょっと確認させてください。

○議会事務局長（富山義昭君） 読み上げましょうか。

○委員長（下山哲司君） ほんなら読み上げてください。

○議会事務局長（富山義昭君） 一部事務組合について、実盛議員が3番と7番、下山議員が4番と6番、北川議員が3番と4番、松田議員が1番、光成議員が7番、佐々木議員が7番、小田議員が3番、福木議員が6番、原田議員が1番、丸山議員が5番と6番、金谷議長が1番

と2番、佐藤議員が4番、行本議員はありません、治徳議員が1番と7番、保田議員が6番、澤議員が5番。それでそれぞれ議員の数は合うと思います。

○委員（北川勝義君） 僕はわりいけど異議申し立てして、かわってもらけん。

○副議長（岡崎達義君） まあええがんもう。

○委員（北川勝義君） いやいや。

○副議長（岡崎達義君） とりあえずこれでいこうや。

○委員（北川勝義君） 下山さん話して、そうなると、前はこういうことじゃったけえなととるだけで。しゃあけど、あるけん、東備農業共済やめたほうがえかろうと、下山さんなあ。抜けちゃろういうことできて、いうのは何いうたら、柵原、吉井、英田火葬場じゃから行くだけのことで、北衛でもいきえてわ。そげなことしたら切りがのうなるこっちゃからよろしいいうて、前決めたが。それを……。

○委員長（下山哲司君） はい。

○副議長（岡崎達義君） まあ、話し合いじゃからなあ。

○委員（北川勝義君） それをもってな、こっちのところがいますんじゃとかな、うちんとこじゃけえいるいうて言うたら……。

○委員長（下山哲司君） そう。

○委員（北川勝義君） それをやり出したらこっちも我をはらにやあおえんなるいうことを言うるわけじゃ。べつにしてえとか……。

○副議長（岡崎達義君） わかった。

○委員（北川勝義君） はっきり言ってなあ、僕はほんとのこと言うて、ちょっとじつつあんと話してかわってもらあ。これ実盛さんにあれしてもらけん。火葬場いってもらけん。柵原、吉井、英田火葬場へいってもらけん。

○委員（原田素代君） 3つだねえ。

○委員（北川勝義君） 2つじゃ。

○副議長（岡崎達義君） 2つじゃって。何を言よん。

○委員（原田素代君） 7番をとったじゃない。

○副議長（岡崎達義君） じゃあから3番と7番じゃがん。

○委員（北川勝義君） せえで僕はわりいけど、3番を消してもろうて……。7番を4番にしちやっせん、実盛さんを。

○委員長（下山哲司君） 4番な。

○委員（北川勝義君） で僕が7番に残るけん。

○委員長（下山哲司君） 7番な。

○委員（北川勝義君） 下山さんが言うた論理のな、地元じゃから北川君こっちのほうがええいうけん、おうそりゃまあそうじゃ言うただけの話で、今の流儀で言うたら違うがん。これ火

葬場みんな厚生いかにゃおえんで。

○委員長（下山哲司君） はい。それでは……。

○副議長（岡崎達義君） これでいいがん。

○委員長（下山哲司君） 今局長が読み上げていただいた分で、実盛議員と北川議員が、4番と7番を入れ替えるということによろしいですか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（下山哲司君） 北川議員、それでよろしいか。

○委員（北川勝義君） よろしい。

○委員長（下山哲司君） それではこれで案として出させていただきますと思います。

○委員（原田素代君） ごめんなさい。北川さんは結局4番が7番に移ったということですか。

○委員長（下山哲司君） そうそう。数は同じです。ではこの案でさせていただきます。次に、議会選出各種委員会委員を……。

○委員（北川勝義君） それもおんなじようにいきゃあえかろう。

○委員長（下山哲司君） はい。お願いしたいと思います。

○委員（北川勝義君） ほな総務からいくで。下山さんが21番かわらず。

○副議長（岡崎達義君） 実盛さんからいこうや。一番左から。

○委員（北川勝義君） 実盛さんはねえんじゃろ。

○議会事務局長（富山義昭君） 16、17……。

○委員（北川勝義君） ああ、16、17。実盛さんが……。

○委員（原田素代君） 前は24ですよ。

○委員（北川勝義君） 24は消しとる。

○副議長（岡崎達義君） 16、17……。

○委員（北川勝義君） 16、17。

○委員（原田素代君） 希望ですからね。

○委員（北川勝義君） あたりめえじゃがな。それから、下山さんはかわらず。北川もかわらず。

○委員長（下山哲司君） ちょっちょ……。実盛さんが16、17。

○委員（北川勝義君） わしは覚えてねえけどそう言うから……。

○副議長（岡崎達義君） 前のがな、北川議員が13と25と28と30、31。

○委員長（下山哲司君） まずの確認をします。

○委員（北川勝義君） 21番。

○委員長（下山哲司君） 実盛さんが16と……。

○議会事務局長（富山義昭君） 無茶苦茶言うとりました……。

- 委員（北川勝義君） ほん。おうとった。
- 議会事務局長（富山義昭君） 違うとりました。ごめんなさい。
- 委員長（下山哲司君） 違うとろう。
- 委員（北川勝義君） 僕のがおうとろう。
- 議会事務局長（富山義昭君） はい。
- 委員（北川勝義君） 実盛さんのうてええ言うたんじゃ。
- 議会事務局長（富山義昭君） 実盛さんありません。
- 委員（北川勝義君） せえでそこをとらしたんじゃ。わしが2つ。
- 委員長（下山哲司君） 実盛さんねえな。
- 委員（原田素代君） で、下山さんは。
- 委員（北川勝義君） 21番。
- 委員長（下山哲司君） 北川議員は、13、25、28、30、31。
- 委員（北川勝義君） 前とおんなじ。それから松田さん、17番、26番。それから光成さんかわらず4番、17番、27番。それから佐々木さんが16番ということです。うちのは何でそういうことをわけたいうたら、前あったポジションで拾いわけしたん。せえ地域性考えて。じゃあから澤さんが16番17番とったのを、16番を佐々木さんに、17番を松田さんに振ったんです。じゃけえ、うちはそのやり方を、岡崎さん、そういう話でやってきとるけん、おんなじように振とるいうことを言いたかった、これもな。
- 委員長（下山哲司君） 前役をだいたい中で振り分けたような感じになっとんで。
- 委員（北川勝義君） うちはそれだけです。
- 委員長（下山哲司君） それでは厚生の方お願いします。
- 委員（原田素代君） 厚生の方ごめんない。特段希望を聞いてないので、前任どおりでお願いしますと思います。
- 委員（北川勝義君） 厚生、前任どおりいうて、厚生は誰が違うんかなあ。あの、わりいけどなあ、前おったのは、福木さんと原田さん丸山さん、この3人じゃろ。
- 副議長（岡崎達義君） そうそう。
- 委員（北川勝義君） この3人はかわらんけえ、この3人はええんじゃ。あとの、小田さんと岡崎さんじゃなあ。小田さんは議長じゃったけど、いうたら、うちが1個減つとんのは、あれが減つとんで、実盛さんがとってねえから、置いてかえつとるから。原田さんこれを言よんでうちは、前のとおったとこのは置いとるいうことを言よるわけ。
- 委員（原田素代君） いや、だからさっき私が言ったのも同じこと。
- 委員（北川勝義君） 違うがん、ふやしたがん。
- 委員（原田素代君） 実盛さんと佐藤さんが残してるのをとっただけです。だから、よそからとってないんですよ、厚生は。まあいいです。蒸し返してもしょうがないから。

- 委員長（下山哲司君） とりあえず、前の丸山さんが18番。それから原田さんが19と28。
- 委員（原田素代君） で、福木さんは……。
- 委員（北川勝義君） 19と28。29じゃろう。
- 委員長（下山哲司君） 29。はい。で、福木さんは20と22ですね。
- 委員（原田素代君） あと岡崎さんと小田さん。岡崎さんは国保の協議会をとられたので…
…。
- 副委員長（福木京子君） 社協の理事を……。
- 委員（原田素代君） 岡崎さんだけ。
- 副委員長（福木京子君） 社協の理事を佐藤さんされよったから……。
- 委員（原田素代君） あとを。
- 委員長（下山哲司君） ああ、今度。ちょっと言うてください。何番。
- 委員（北川勝義君） じゃけえそれを……。
- 委員（原田素代君） 23番。
- 委員（北川勝義君） 福木さん、こういうこっちゃろう。前のをやっぱり残して重点的にいきょうるわけじゃな。せえじゃったらわかる。
- 委員長（下山哲司君） 岡崎さん13番……。
- 委員（原田素代君） 岡崎さん1番と23番。と18番。
- 委員（北川勝義君） せえで、いうのがなあ、ちょっと書いてえのがなあ、前は産建が1人減ったろう死なれたけど、その前は生きとったけど。なったがん。で、今度は厚生が1人少ねえわけじゃ、厚生のとこが。じゃから厚生の割り振りが少のうても仕方がねえんじやいうことを言ようるわけ。地域性のこともある、それだけは考えなんだらいけんいう話をしたかった。
- 委員長（下山哲司君） 小田さんは
- 委員（原田素代君） 小田さんは聞いてないんです。
- 副議長（岡崎達義君） 小田さんはもう聞いてないし、いいんじゃない。
- 委員（原田素代君） もしも……。
- 委員（北川勝義君） まあなあ、あいとるところで、大変申し訳ねえけどなあ、議長……。
- 委員長（下山哲司君） 僕もあいとるところであてられたんで、前。
- 委員（北川勝義君） 議長、副議長じゃとか、厚生なつとんのはそうさせてもらわなんだらいけんと思う。
- 委員長（下山哲司君） とりあえずほんなら産建のほうを。
- 委員（治徳義明君） すいません、産建言います。澤さんが25、31を希望します。そのかわり議長がひきますから、プラマイはゼロになります、産建としましては。あとの方は……。
- 委員長（下山哲司君） 保田さんは。

- 委員（治徳義明君） 希望がないんで、そのままを希望されてると理解しています。
- 委員長（下山哲司君） 18番と26番。治徳さんが、13と15。
- 委員（治徳義明君） 13と15は充て職でしょ。25と31を希望で、20はもしあれだったらひきます。
- 委員（原田素代君） 希望を全部出していただいたほうがいいですね。
- 委員（治徳義明君） 20の民生委員推薦会はどちらでも……。とられる人がおられたらとっていただいたら結構です。
- 委員長（下山哲司君） 25をいっとんじゃろ、前に。
- 委員（治徳義明君） 20、25、31をやってたんですけど、20はもう充て職があるんで、もしほかにおられたら。
- 委員長（下山哲司君） 佐藤議員が全然ねえ。
- 委員（治徳義明君） あ、ほんなら佐藤議員さんが。
- 委員長（下山哲司君） 佐藤議員20。
- 委員（治徳義明君） でも佐藤さん23、30があるんじゃないですか。
- 委員長（下山哲司君） 置いて出てきとるから、ないんです。
- 委員（治徳義明君） ないんですか。
- 委員長（下山哲司君） じゃあちょっと確認させていただきます。1番、岡崎副議長、2番は充て職、3番も充て職、4番が光成議員と議長の充て職、5番が……。
- 委員（北川勝義君） 12番まではねえんじゃ。
- 委員長（下山哲司君） 12番までは充て職。13番が北川議員と議長と、治徳議員。14番が議長充て職、15番が議長と治徳議員。16番が佐々木議員。17番が松田議員、光成議員。18番が岡崎議員、丸山議員、保田議員。19番が原田議員。20番が福木議員と佐藤議員。21番が私一人。22番が福木議員。23番が岡崎副議長。24番が光成議員……。
- 委員（原田素代君） え、入ってないよ。
- 委員長（下山哲司君） シルバーは実盛さんじゃな。
- 委員（北川勝義君） 誰もねえんじゃったら実盛さんいかしちやってくれりゃあええが。
- 委員（原田素代君） いやいや、厚生から出すんですねこれへ。
- 副委員長（福木京子君） 今までは……。
- 委員（北川勝義君） まあ慣例で厚生から出しちゃったような感じになっとらあな。
- 副議長（岡崎達義君） まあええが、いってもらやあ。
- 委員（原田素代君） じゃあ小田さんにいってもらえばいいじゃない。
- 副議長（岡崎達義君） 小田さんは……。
- 委員（北川勝義君） ええんじゃっちゃ。
- 委員長（下山哲司君） 元議長じゃから……。

○委員（北川勝義君） せんのもんじゃ。

○委員長（下山哲司君） 25番、実盛議員。

○委員（北川勝義君） ん。実盛議員は24番。

○委員長（下山哲司君） 24か。また間違えた。

○委員（原田素代君） いいわけですね、別に。じゃ担当委員会は。

○委員（北川勝義君） そんなことを言うたらきりがねえ。

○委員長（下山哲司君） 24番を実盛議員ね。25番が北川議員、治徳議員、澤議員。26番が松田議員、保田議員。27番が……。

○副議長（岡崎達義君） 光成議員がいつとった。

○委員長（下山哲司君） 途中で交代だったと思う。

佐々木君じゃってから、佐々木君がやめる言うて。

○委員長（下山哲司君） これ小田さんに1ついってもろうたらええんじゃねんかと。

○委員（北川勝義君） 議長じゃからええって、そりゃあ。わりいけど光成さんにいかしちやってくれるか、佐々木君にいかしちやって。佐々木君はどうせ受けん言おうからなあ。やめとるから。光成さんにしちやってん。

光成君ね、はい。せえで、28番、北川議員。

○委員（北川勝義君） いきてえもんがおったらいってくれりゃあえええで。

○委員長（下山哲司君） いや、お願いします。29番、原田議員。30番が北川議員。

○委員（北川勝義君） 違おう。29番が……。

○委員（原田素代君） 原田です。

○委員（北川勝義君） 原田さん。30番は2人で。

○委員長（下山哲司君） 30番が北川議員。

○副委員長（福木京子君） ともう1人。

○委員長（下山哲司君） ん。

○委員（北川勝義君） じゃから、人権、佐藤がなとったんじゃ。佐藤にとっちゃりやええがん。

○副議長（岡崎達義君） ほな佐藤さん。

○委員（治徳義明君） 佐藤さんでええじゃないですか。

○委員長（下山哲司君） 佐藤さんでな。それから、31番が北川議員に治徳議員に澤議員。それで一応数は合つとる。

○副委員長（福木京子君） 1人の人も……。

○委員（北川勝義君） もうせられえ、城南でもなんでもさしたげる。してくれえっちゃ。わしゃあしてえことはねえ、場所が違うんじゃから。人権もしたかったらしてください、あんたらの思うたように、面倒なけえもう。

○委員（原田素代君） 実盛さん、下山さんが1個ずつ。

いいですいいです。前あいたとこへあたった……。

○委員（北川勝義君） あいたとこへな。児童館がええいうて……。

○委員長（下山哲司君） 僕はあとから聞いたんで、それではこれでとりあえず議会選出委員会の委員も決まりました。まず案なんでこれで確認をするように、はい。

○副議長（岡崎達義君） 社会福祉協議会は丸山さんにしてもろうたほうがええんじゃないん。

○委員（北川勝義君） 何が。

○副議長（岡崎達義君） 社会福祉協議会理事。

○委員長（下山哲司君） 行本さんはゼロで。

○委員（原田素代君） 行本さんと小田さんは入らない。

○副議長（岡崎達義君） いったほうがよけりゃあ。

○委員（北川勝義君） そりゃあいったげりゃあそっちのほうが、大変言い方わりいけど、しゃんとした人がいつとかにゃおえんけえ。いやいや、みんなしゃんとしとるけど。

○副議長（岡崎達義君） 1個しかねえからな。

○委員長（下山哲司君） とくに社協ちょっと混乱しとるようなんで、まあ、ご助力をお願いいたします。それではこれで閉めさせていただきますよろしいか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（下山哲司君） それでは、第6回議会運営委員会を閉会いたします。ご苦労様でした。

午後1時59分 閉会